

はが野で農業をはじめよう!

JA はが野

新規就農塾

令和2年度

令和元年

研修生募集

11月まで

募集要項

- 事業の内容 J Aはが野管内の熟練農業者のもとで1年間の研修を行い、農業経営に必要な技術・知識を習得する。
- 募集対象者
 - ①年齢満18～48歳
 - ②研修修了後、当J A管内の就農希望地において、就農・経営を開始すること。
 - ③当J Aの組合員となること。
 - ④生産部会員として活動できること。
- 募集人数 6名程度
- 研修期間 1年間(令和2年4月～令和3年3月)
※品目や研修状況によって変わります
- 研修内容 実際の農作業を通じた研修
講習会等での学術研修、DVDや書籍等の貸出
- 選考方法等 申込書を提出後、「書類審査」「面接審査」の上決定
※申込については、他にも条件があります。詳しくは下記問い合わせまでご連絡下さい。

申込・お問い合わせ

はが野農業協同組合 営農部(担当:秋山)

住所:〒321-4303 栃木県真岡市八条95

TEL:0285-83-7623

FAX:0285-83-7754

メール:h.einou1@ja-hagano.or.jp

URL:http://www.ja-hagano.or.jp



新規就農塾先輩を紹介します



小池 伸幸さん
出身：東京都
(前職ITエンジニア)

Q とちぎでいちごをはじめたきっかけ

農業に興味があった。ただ何を作るかまで考えていなかった。新規就農者の受入体制が整っており、農地面積あたりの収益性の高い苺

を選んだ。いちごの新規就農塾で学んで就農をしました。

Q いちごを作って思ったこと

いちごは奥が深い作物。切れ目ない仕事ですが、黙々と作業するのが好きなので労働は苦ではありませんが天候の影響受けやすい作物。



金子 真・涼子さん夫妻
出身：埼玉県(前職IT企業)

Q とちぎでいちごをはじめたきっかけ

土地を集約的に活用し、収益性の高い作物を探して栃木県で探していたら新規就農へのサポートが良く、いちごが条件にピッタリあった。

Q いちごを作って思ったこと

うまくいかない事が多く、毎日が手探り状態。わからないことは、周りの方に相談してます。



伴瀬 知宏さん
出身：宇都宮市(前職製造業)

Q いちごをはじめたきっかけ

何が出来るのか、探していたら農業会社の紹介により、いちご新規就農塾でやる気が起きました。

Q いちごを作って思ったこと

農業は自分自身が経営者なので良くも悪くも自分次第。決まった休日もないので大変さも感じます。



富田 欣也さん
出身：茨城県(前職サービス業)

Q とちぎでいちごをはじめたきっかけ

収益性の高い農作物と農地付住宅を探して県の振興公社に相談したらいちご栽培と茂木町に行き着いた。

Q いちごを作って思ったこと

いちご作りは難しい作物。色々な方のアドバイスをもらってます。いちごは、手間をかけた分応えてくれる作物です。



田村 善行さん 出身：東京都(前職総合商社)

Q とちぎでいちごをはじめたきっかけ

那須に別荘があり栃木には縁があった。少ない面積で収益を上げられる施設園芸栽培を考えていた中で、特産のいちごを選びました。農業はまったくわからなかったので農家研修は就農するにあたり大変役に立ちました。

Q いちごを作って思ったこと

仕事の流れがわからず夢中でやっています。すべてが新規なので資本投資負担が多く、資材・経費も高いので経費削減を常に考えています。



西橋 昌洋さん
出身：東京都
(前職IT企業)

Q とちぎでいちごをはじめたきっかけ

日本一のいちごの産地で就農出来るチャンスがあった事が一番大きい。その他に、JAの研修制度が受けられ、また、パッケージセン

ターがある事など、産地ならではのメリットを感じた。

Q いちごを作って思ったこと

季節の移り変わりがこんなに早いものかと思った。それぞれの期間に適切な作業を終わらせる事を継続することが難しい。

Q 将来の目標

新規就農塾生が来た時に受け入れられるよう、手本になるような技術を持ったいちご農家になりたい。



中村 太紀さん
出身：栃木県芳賀町
(栃木県農業大学校卒)

Q とちぎでいちごをはじめたきっかけ

いちごは農地面積あたりの収益性が高く、新規就農塾など新規就農者へのサポートが充実していたため。

Q いちごを作って思ったこと

年間を通しての様々な作業を、時期や天候を考えながら、日々作業しています。作業量が多く、大変なことも多いが、やりがいのある作物だと感じています。

Q 将来の目標

まずは、平均以上の収穫量を目指して頑張りたい。



※ J A はが野は・・・関東平野の栃木県南東部に位置し、首都圏 100 km 圏内のエリアです。J A 管内は 1 市 4 町からなり、東部の中山間地を関東随一の清流と言われる那珂川が流れ、西部の鬼怒川東側ではゆるやかな台地となり、肥沃な穀倉地帯で形成されています。園芸作物には、イチゴ、ナス、ニラ、トマト、梨など農業の盛んな地域です。